

上五島ドボク新聞

臨時号

R3年1月

発行 竹内章、出水享
編集 上五島高校
協力 大宝建設、長崎県

「砂すくらの楽しいね」

「土木のお仕事」の大切さやおもしろさを知ってもらおうイベント「親子の現場見学会」が十二月二十日、新上五島町榎

津郷の魚目小学校前の工事現場で開かれ、町内の親子連れ約三十人が、土木工事のおもしろさや大切さを学びました。



魚目小学校前で 土木体験イベント

このイベントは、魚目小学校前の工事現場で働く作業員さんが発案。工事を請け負っている大宝建設が主催し、長崎大学

■編集後記

土木は英語で「Civil Engineering」といいます。「Civil」は市民、「Engineering」は技術の意味です。道、橋、トンネル、ダム、水道、公園、港など私たちの生活に欠かせないインフラのほとんどが土木の仕事で造られ、守られています。私たちが当たり前前の生活が送れるのは土木のお陰なんです。（長崎大学・出水享 博士）

の土木学者・出水享（あきら）さんも企画面などで協力しました。

イベントでは、出水さんが、土木が身近なところで役立つていることなど説明したあと、魚目小

前の道路拡張工事現場で、子どもたちがショベルで砂をすくいあげたり金づちで杭を打ち付けたりする作業に挑戦しました。

ショベルカーに乗った小林美結さんは「砂をすくらのが楽しかったです」と笑顔。一緒に参加した父の小林雄二さんも「日ごろなかなか体験できないことばかりで、娘にとってとても貴重な経験になりました」と感謝して

いました。くぎ打ちにチャレンジした高木陽太君は「くぎを打つ金づちが重かったけれど、打ち付けるのが楽しかった」と話していました。

主催者・大宝建設の松尾恵一さんは「思った以上にたくさんの方に参加して頂き、とてもありがたいです。工事への理解も深まりました」と話していました。

◆ ◆
上五島ドボク新聞は、上五島高校写真部（顧問 野本康彦先生）・江口元基君が写真撮影や取材を担当し、写真部が作成しました。